



国労東京支部

2024年1月23日

第54号

国鉄労働組合東京支部機関紙
発行責任者 松田 恒明
編集責任者 佐藤 賢一

23年度地本JESS連絡会総会開催

1月19日、地本会議室において地本JESS連絡会の総会が開催された。慢性的な要員不足問題、駅での一徹体制の問題点や再々雇用の問題など、活発な意見が出されたので一部を掲載したい。

- どこの駅も要員不足が深刻である。一人休むと勤務がグチャグチャになる。必要な要員を配置すべきである。
- 今まで主任は自動昇格であったが、今年度から試験制度が導入された。会社の業務なのに、なぜ自分の時間で受けなければならないのか。
- 日勤が減らされたことで非番者が超勤で残って仕事をしていたが、会社側は何もしないので、社員の声で超勤をやめることにした。
(出番者が締切作業をする間だけ、自主的に残って超勤をしていた) そしたら会社側は、他の駅の日勤者を朝だけ応援によこすようになった。
- 65歳以上の再々雇用について明確な判断基準がない。希望者全員を継続雇用すべきではないか。
- 営業経験のまったくない人が一人勤務の駅へ転勤になった。わからないことがあったときに聞ける人が誰もいない。ひどい話だ。
- 片方の改札口を遠隔にする話が出ているが、現場で説明を求めて答えない。



東京支部新春団結旗開き開催



東京支部は1月17日、北トピアにおいて支部結成以来初めての旗開きを開催した。これまでも計画はしたが、コロナの厚い壁に阻まれて中止となってきた。

恒本副委員長の司会で始まり、松田委員長が新春のあいさつを述べた。来賓の方や上部機関からあいさつを受け、続いて各地区の仲間から報告を受けた。

総勢41人が参加して、途中抽選会を行い、豪華景品?が当たった仲間もいた。いよいよ本格的に24春闘が始まる。団結を強化して諸要求を勝ち取ろう!

東京支部団結旗開き開催

東京支部は1月17日、北トピアにおいて支部結成以来初めての旗開きを開催した。これまでにも計画はしたが、コロナの厚い壁に阻まれて中止となってきた。

恒本副委員長の司会で始まり、松田委員長が新春のあいさつを述べた。来賓の方や上部機関からあいさつを受け、続いて各地区の仲間から報告を受けた。総勢41人が参加して、結成後初の旗開きで団結を固め合った。

